

型番	SI-1200CL		
お客様	ご住所	〒□□□ □□□□ TEL.	
	お名前	様	
保証期間	本体	お買い上げ日から 1年	お買い上げ日 年 月 日
	販売店	住所・店名	TEL. 印

販売店様へ：太ワクの中は必ず記入してお渡しください。

保証規定

- 保証期間内(お買い上げ日より1年間)に、正常なる使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。
- 修理は、お買い上げの販売店に必ず本保証書をご提示の上ご依頼ください。
- ご贈答、ご転居の際は、事前にお買い上げの販売店、電気店へご相談ください。
- 次のような場合には、保証期間内でも有料修理、もしくは修理をお断りする場合があります。
 - イ) 使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷
 - ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
 - ハ) 火災、地震、風水害、落雷、塩害、ガス害、その他天災地変、公害及び異常電圧などによる故障及び損傷
 - ニ) 車輛、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷

- ホ) 一般家庭用以外(例えば業務用)に使用された場合の故障及び損傷
- ヘ) 腐食による故障及び損傷
- ト) プラスチックの表面(フッ素樹脂加工も含む)及びメッキの摩耗や打痕による損傷
- チ) 本書のご提示がない場合
- リ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- ヌ) 中古品、又は個人売買(オークションサイト、フリマアプリ等)で購入された商品の場合
- ⑤ 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This guarantee is valid only with in Japan.
- ⑥ 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- ⑦ 出張修理は行っておりません。

年月日	サービス内容	点検印
・ ・		
・ ・		
・ ・		

株式会社 石崎電機製作所

お客様ご相談センター

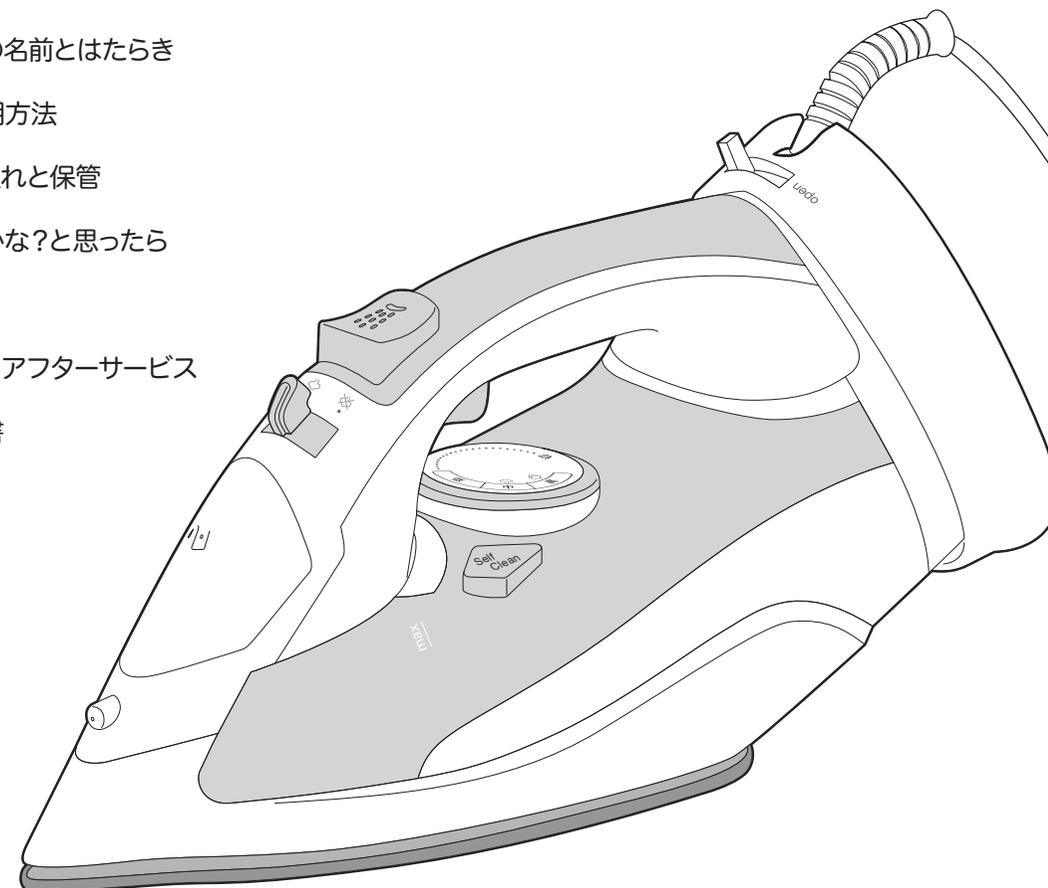
TEL: 048-931-3110

〒340-0807 埼玉県八潮市新町9
 受付時間：月～金の9時～12時/13時～17時
 ※祝日・年末年始・夏季などの休業中を除く

コードレスアイロン SI-1200CL 取扱説明書

このたびはコードレスアイロンをお買いあげいただきまして誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を最後まで必ずお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあと、いつでも必要な時に取り出せるように所定の場所に必ず保管してください。

- 01~04 安全上のご注意
 - 05~06 各部の名前とはたらき
 - 07~11 ご使用方法
 - 12 お手入れと保管
 - 13 故障かな?と思ったら
 - 14 仕様
 - 14 保証とアフターサービス
- 裏表紙 保証書



⚠ 注意

やけどに注意!
 アイロンのかけ面、スチームに触れない。高温によるやけどの原因になります。

スチームを人に向けて噴出しない。
 スチームに触れると、やけどの原因になります。



タンク内部に若干の水 droplet が付着している場合がありますが、スチーム検査を行っているため、異常ではありません。

安全上のご注意 (その1)

ご使用前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

表示と意味は次のとおりです。

警告

この表示を無視して間違った取り扱いをすると、使用者や近づいた方が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを表しています。

注意

この表示を無視して間違った取り扱いをすると、使用者や近づいた方が傷害を負う可能性が想定されること、また物的損害のみの発生が想定されることを表しています。
※物的損害とは、機械、建物、家屋、家財及び家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。

具体的な絵表示には次の意味がありますので、十分に理解してお読みください。

 〇は、禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示しています。上図の場合は「分解禁止」を表します。

 ●は、強制(必ずすること)を示します。具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示しています。上図の場合は「差込プラグをコンセントから抜くこと」を表します。

警告 やけど・けがを防ぐために

異常・故障時にはすぐに使用を中止し、差込プラグを抜く。

- ・電源コードが傷んでいる。(ひび割れ、中の線が見えるなど)
 - ・電源コードを動かすと通電したり、しななかったりする。
 - ・コゲくさい臭いがする。
 - ・電源コードや差込プラグが異常に熱い。
- などの症状が出たら、すぐに販売店またはお客様ご相談センターへ点検・修理を依頼してください。

お客様ご相談センター
048-931-3110



安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人や子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない。製品で子供が遊ばないようにする。けが・やけど・感電の原因になります。



ショットスチームを人に向けて噴出しない。

スチームに触れると、やけどの原因になります。



警告 取り扱い・使い方

修理技術者以外の方は、絶対に分解・修理を行わない。または改造しない。
異常動作して感電・発火し、けがの原因になります。



カーテンなどの可燃物の近くで使用しない。火災の原因になります。



本体を水につけたり、水をかけたりしない。
ショート・感電の原因になります。



濡れた手で温度調節ダイヤルの操作をしない。感電の原因になります。



警告 電源・コード

電源は交流100Vで定格15Aのコンセントを単独で使う。
他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。



差込プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。感電・ショート・発火の原因になります。



差込プラグのほこりなどは定期的に拭きとる。
プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。



差込プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差込プラグをもって引き抜く。感電・ショート・故障の原因になります。



使用時以外は、差込プラグを必ずコンセントから抜く。
けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



電源コードに足などを引っかけない。けがや故障の原因になります。



差込プラグにピンやさみを付着させない。
感電・ショート・発火の原因になります。



電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない。感電・ショート・発火の原因になります。



差込プラグをなめさせない。
乳児が誤ってなめないように注意する。
感電・けがの原因になります。



電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしない。また、重たいものを載せたり挟み込んだりしない。



濡れた手で差込プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。



電源コードが破損し、感電・ショート・火災の原因になります。

△ 注意 使用場所

風呂場やシャワー室などの湿気が多い場所でアイロンかけはしない。
火災・感電の原因になります。



壁や家具の近くでは使わない。
熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。
また、本体の故障・変形や火災の原因になります。



火気(コンロ・ストーブ)の近くやほこりの多いところ、水のかかるところでは使用しない。
故障や破損、ショート・発火及び感電・漏電の原因になります。



不安定な場所の上では使用しない。
必ず平らで安定した場所で使用し、安定した所に立てて置く。
毛足の長い敷物や不安定な所に置くと、転倒して敷物の損傷、けが・やけどの原因になります。



ビニールクロスなど熱に弱い敷物の上や、じゅうたん、新聞紙、ダンボールなどや畳の上では使用しない。
火災の原因になります。



△ 注意 やけど・けがを防ぐために

湿った衣類(霧吹きした衣類)は、ドライでアイロンかけをする。
スチームでおこなうと湯滴が出て、やけどの原因になります。



使用中・使用直後は高温部(かけ面・給電部・スタンド)に触れない。
やけどの原因になります。



熱いスチームに触れない。
やけどの原因になります。アイロン台によっては、スチームが透過する場合があります。



着用したままの衣類にアイロンかけ及び、ショットスチームをかけない。
やけどの原因になります。



アイロンかけ及びスチームかけ以外の目的で使用しない。
過熱・異常動作による発火・やけどの原因になります。



アイロンを傾けたり、前後にはげしく動かさない。
やけどの原因になります。



△ 注意 発火・火災を防ぐために

通電したまま放置しない。
その場を離れる場合は、必ず差込プラグを抜く。
けがややけど、絶縁劣化による感電や漏電、火災の原因になります。



アイロンの近くで可燃性ガスなどが発生するものを使用しない。
火災の原因になります。



熱い状態のアイロンに電源コードを巻き付けない。
ショート・発火することがあります。



引火性のもの(ガソリン、ベンジン、シンナー)の近くで使用しない。
ショート・発火することがあります。



△ 注意 取り扱い

水は水道水を使用する。
ミネラルウォーター、軟水器の水、アルカリイオン整水器の水、香料を含んだ水を使うと、水アカがたまった腐食や故障の原因になります。



通電中に異常に発煙したり発火した場合は、すぐに温度調節ダイヤルを『切』にし、差込プラグを抜く。
火災の原因になります。



衣類などに付いているアイロンマーク(絵表示)を必ず守る。
衣類などのこげ・変質などの原因になります。
(絵表示の説明は P.6 をご覧ください。)



水タンクへの注水は「max」目盛りまで。
目盛り以上に入れると、使用中に水がこぼれる原因になります。



落下などにより本体が破損や水漏れした場合は、使用しない。
発火や感電事故の原因になります。



お手入れのときは、差込プラグをコンセントから必ず抜いて行う。
感電事故の原因になります。



ご使用後は、水タンクの水を抜いて保管する。
水がこぼれたり、次回のご使用時に電源を入れるとスチームや熱湯が吹き出ることがあります。



落としたりぶついたりしない。
感電・発火の原因になります。



業務使用は行わない。一般家庭用のアイロンです。
ご使用方法を理解せずに不特定多数の方や業務でご使用されることはアイロンの早期故障や重大事故につながります。



ボタン・ファスナーなどの固いものにアイロンかけはしない。
かけ面が傷付いたり、コーティングが剥がれたりする原因になります。



スチーム使用のときは、スプレーのりを使用しない。
かけ面にのりが付着し、アイロンかけがスムーズにできなくなることがあります。



市販のかけ面カバーや、スチーム噴出孔を布で覆って使用しない。
故障の原因になります。



熱や湿り気に弱い壁紙の近くではスチームを使用しない。
スチームによりダメージを受ける可能性があります。



水をこぼさない。誤動作の原因になります。
水がこぼれたときは、布で拭き取ってから使用してください。



スタンドの接続端子をピンや針金で触れない。
感電の原因になります。



皮革製品や人工革製品、絹、着物などには使用しない。
スチームにより縮む恐れがあります。



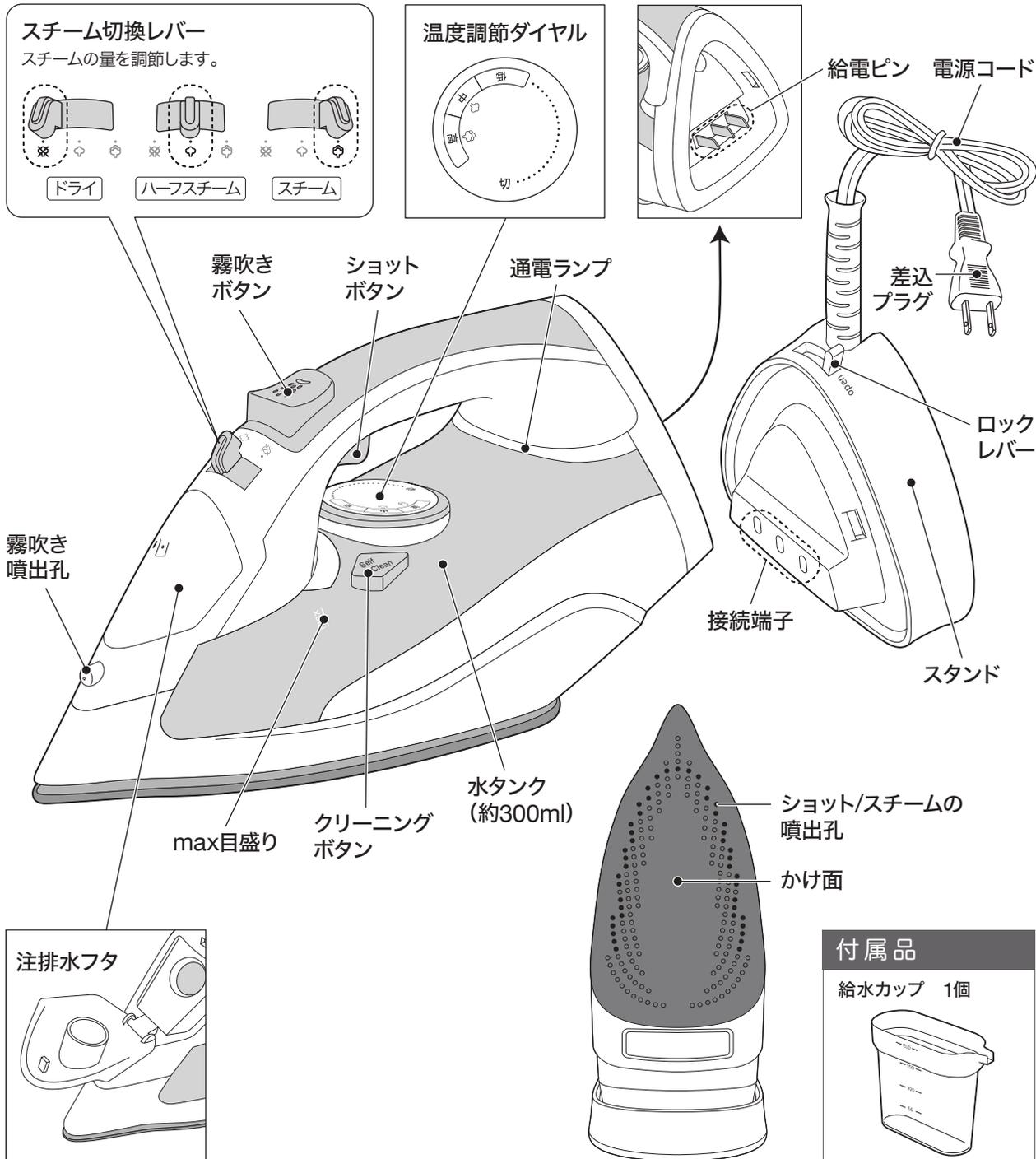
アイロンをスタンドにのせた時は、必ずロックレバーを『lock』にする。
発火や火災の原因になります。



スタンドにコードを巻き付けない。
ショート・発火の原因になります。

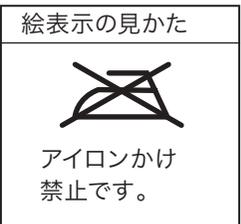


各部の名前とはたらき



温度設定の仕方

温度設定位置	低	中	高
かけ面の温度	約80°C~130°C	約130°C~160°C	約160°C~200°C
絵表示	新表示 		
	旧表示 		
衣類・布地の種類	アクリル シルク ポリウレタン ポリプロピレン	毛・ナイロン ビニロン レーヨン キュプラ アセテート ポリエステル	綿・麻 ポリノジック



⚠️注意

おかけになる布地に日本工業規格「JIS」で定められた絵表示がある場合は、その絵表示に従い温度調節ダイヤルで温度設定を合わせてください。

絵表示がない場合は、おかけになる布地に合った温度設定を温度調節ダイヤルで合わせてください。混紡の場合は、低い方の繊維温度に合わせてください。

低温・中温および熱に弱い布地には「あて布」をするか「ためしかけ」をしてください。布地のテカリを防止するには「あて布」をしてください。

布地に合った温度設定でアイロンかけをしても、布の上で止めたり、極端にゆっくり動かしたりすると布地をいためる事がありますので注意してください。

オートオフについて

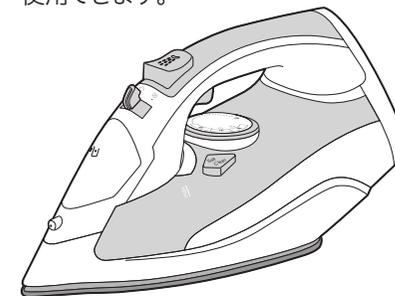
●かけ面オートオフ

本体にスタンドを取り付けて通電し、立てた状態で約8分間、または水平にした状態で約30秒経つと、加熱を停止し、通電ランプが点滅します。本体をスタンドに取り付けたまま動かすと解除されます。

2通りの使い方ができます

●コードレスアイロン

スタンドを外すと、コードレスアイロンとして使用できます。



●コード付きアイロン

スタンドを取り付けたまま、コード付きアイロンとしても使用できます。

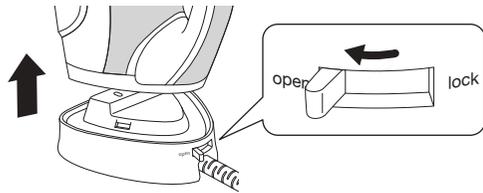


アイロンの使い方

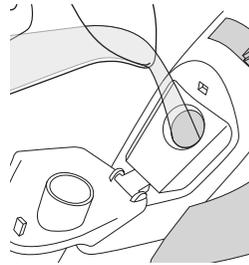
ショットスチーム・霧吹きを使用する場合は①から、ドライアイロンとして使用する場合は②から行ってください。

1 水タンクに給水する

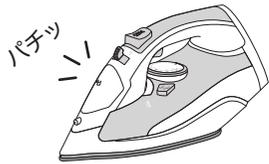
1 スタンドのロックレバーを『open』にしてアイロンをスタンドから外します。



2 スチーム切換レバーをドライ『☼』にし、注排水フタを開き、付属の給水カップでmax目盛り以下まで水をゆっくり入れます。



3 給水が終わったら、注排水フタを確実に閉めます。

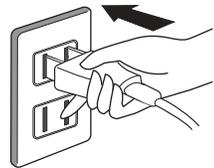


△ 注意

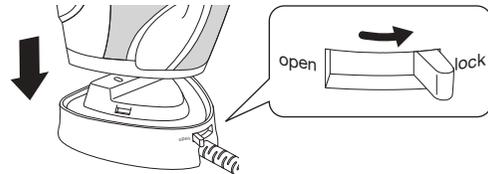
- スチーム切換レバーは必ずドライ『☼』にしてください。ドライ『☼』位置以外で注水すると、かけ面のスチーム噴出孔から水滴が漏れることがあります。
- 水は、水道水を使用してください。次の水は入れないでください。ミネラルウォーター、軟水器の水、アルカリイオン整水器の水、香料を含んだ水など。
- 水タンクに水を入れる際は、必ず付属の給水カップをご使用ください。直接、水道から水を入れると水があふれ、製品内に入り感電・故障・ショートの原因になります。

2 温度設定をする

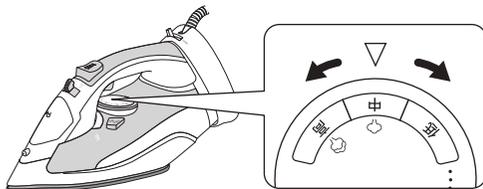
1 差込プラグを正しく配線された交流100Vのコンセントに根元までしっかりと差し込みます。



2 アイロンをスタンドにのせ、ロックレバーを『lock』にします。通電ランプが緑色に点灯します。



3 温度調節ダイヤルを生地に合わせて回します。通電ランプが赤色に変わります。



水漏れ防止

スチーム切換レバーがドライ『☼』にしてあることを必ず行う 確認してください。



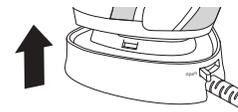
△ 注意

スチーム位置以外の温度でスチームを使用すると、かけ面のスチーム噴出孔から湯滴が漏れることがあります。

3 アイロンかけをする

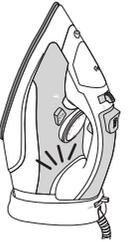
○ コードレスで使用する

1 適温になると通電ランプが緑色に変わり、使用できます。ロックレバーを『open』にしてアイロンとスタンドを外します。

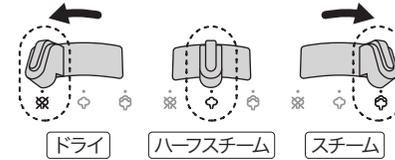


○ コード付きで使用する

1 適温になると通電ランプが緑色に変わり、使用できます。

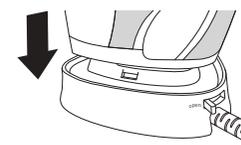


2 スチーム・ドライの切換はスチーム切換レバーで行います。ドライ使用はスチーム切換レバーを『☼』に合わせ、スチーム使用の場合は、『☼』～『☼』に合わせます。



※温度が上がると音がすることがありますが、異常ではありません。
※中温でスチームを使用する場合は、ハーフスチーム『☼』にしてください。中温でスチーム『☼』にすると、湯漏れの原因となります。
※スチームが出にくいときは、アイロンを水平にし、スチーム切換レバーを2~3回左右に動かしてください。

3 アイロンかけをします。定期的アイロンをスタンドに戻し、ロックレバーを『lock』にして、通電ランプが緑色に変わってから再度使用します。



3 アイロンかけが連続で行えます。使用中は、通電ランプが緑色と赤色を繰り返し点灯します。



頑固なシワなどはショットスチームや霧吹きを使用します

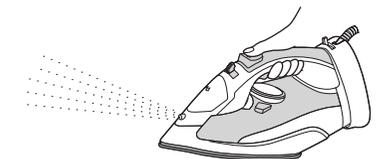
ショットスチーム

ショットボタンを押すと、単発的に強力なスチームを噴出します。ショットスチームを使用する場合は、温度調節ダイヤルを『高』にしてください。



霧吹き

霧吹きボタンを押すと、霧が出ます。



△ 注意

- スチーム・ショットスチームを使用する場合は、温度調節ダイヤルを『中』または『高』にして使用してください。
- ショットボタンは2、3秒に1回の間隔で押してください。

4 使用後

1 スチーム切換レバーをドライ『☒』に、温度調節ダイヤルを『切』にします。

3 コードレスとして使用した場合は、アイロンをスタンドに戻し、ロックレバーを『lock』にします。

5 かけ面が冷えるまで、必ず平らで安定した場所に立てて置いてください。

2 注排水フタを開け、水を捨てます。

必ず行う 腐食防止のため、必ず行ってください。

注意 かけ面が熱くなっているため、水を捨てる際はやけどに注意してください。

4 差込プラグをコンセントから抜きます。

アイロンのクリーニング

アイロン内部に溜まった汚れを取り除くため、定期的にクリーニングを行ってください。
※使用頻度、水質にもよりますが、月1回が目安です。

1 スチームレバーをドライにします。

2 水タンクに水を3分の2程度入れます。

3 アイロンをスタンドにのせ、ロックレバーを『lock』にし、差込プラグをコンセントに差し込みます。

4 温度調節ダイヤルを『高』にセットし、2分間ほどアイロンを温めます。

5 本体にスタンドを取り付けた状態で、クリーニングボタンを押しながら、スチーム噴出孔からスチーム、湯滴が出なくなるまで水平にゆっくり振ります。

必ず行う かけ面から湯滴がこぼれますので、必ず流し台など、濡れても良い場所で行ってください。

注意 やけどに注意

6 スチーム、湯滴が止まったら、必ず平らで安定した場所に立てて置き、さらにスチームが出なくなるまでアイロンを温めます。

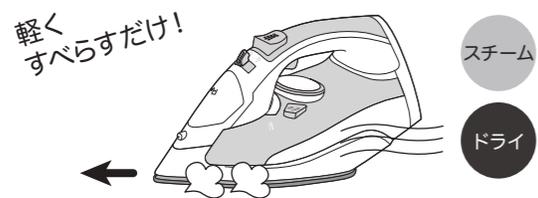
7 スチームが完全に止まったら、温度調節ダイヤルを『切』にして、差込プラグを抜きます。

△ 注意

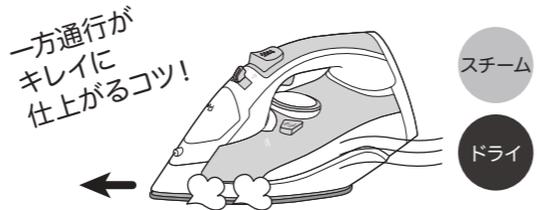
- アイロンを立てて置いた時、かけ面に付着した湯滴がこぼれることがありますので、やけどに注意してください。

アイロンの上手な使い方

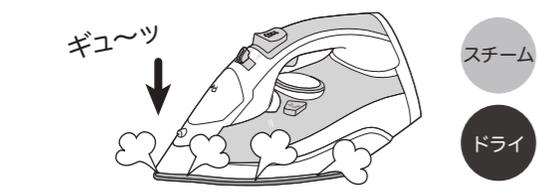
必要以上の力をかけないで、衣類の上をすべらすように軽くかけるだけで十分です。



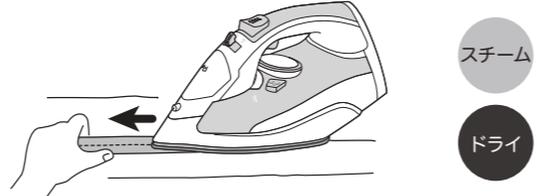
アイロンを往復させたりすると余分なシワができます。一定方向に動かしましょう。



とくに折り目をはっきりつけたい所やガンコなシワの部分はしっかり押さえます。



衣類の縫い目に合わせ、縫い目を引っ張り気味にかけるのがポイントです。



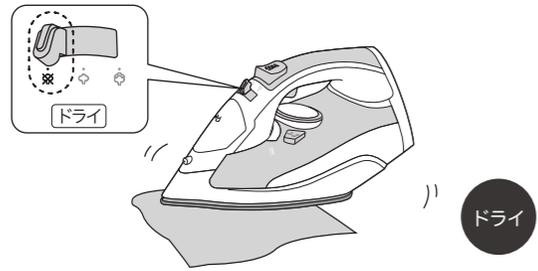
適度な温度と湿り気でサツと仕上げるのがコツです。



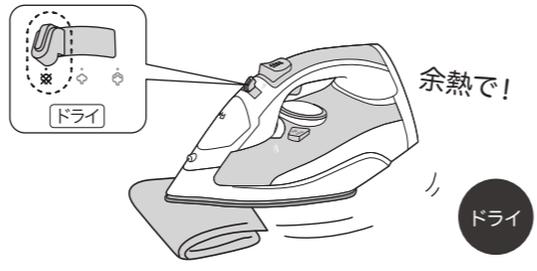
ウールやセーターのような毛足の長い繊維には「浮かしかけ」をしてスチームを当てます。



アイロンかけは、ドライで低温の布地から。繊維をいためる恐れもなく、早くできます。



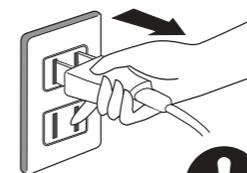
ハンカチなどの小さいものは、電源を切ったあとの余熱を、ドライで利用ください。



⚠警告 お手入れの際は必ず差込プラグをコンセントから抜く。必ずかけ面が十分に冷めてから行う。ご使用後、手をかざし熱さを感じた時は、冷めるまでお手入れを行わない。やけどの原因になります。

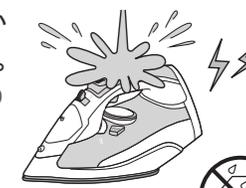
⚠注意

お手入れの際は必ず差込プラグをコンセントから抜く。濡れた手で抜き差しをしない。ショート・感電やけがの原因になります。



必ず行う

本体を水につけたり、水をかけたり、丸洗いをしない。ショート・感電の原因になります。



水濡れ禁止

ご使用ごとに、やわらかい布か、濡れた布で拭き、最後から拭きしてください。



必ず行う

金属製のたわしやナイロンたわし、シンナー、ベンジン、化学ぞうきん、アルカリ性洗剤、磨き粉などは使用しない。傷や表面加工が剥がれる原因になります。



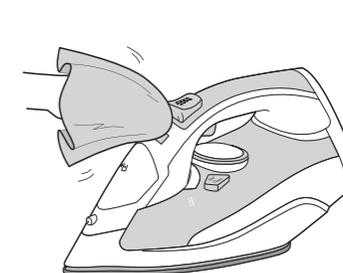
禁止

本体のお手入れ

本体・かけ面の汚れは、やわらかい布などで拭いてください。かけ面の落ちにくい汚れは、中性洗剤か水をふくませた布で拭き取り、最後から拭きをしてください。

スチーム噴出孔のつまりは、つま楊枝などで取り除いてください。目安は3、4ヶ月に1回です。

給電ピンの汚れは、乾いた布でふいてください。給電ピン、接続端子は、紙やすりなどで磨かないでください。

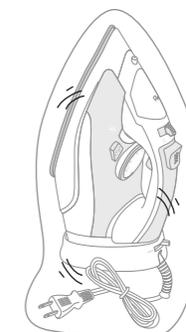


必ず行う

保管

※保管する前に、必ずお手入れを行い、十分に乾燥させてください。

- ・温度調節ダイヤルは必ず『切』にしてください。
- ・スチーム切換レバーは必ずドライ『☒』にしてください。
- ・保管の際は、商品の入っていた箱にクッション材と共に収めてください。
- ・箱がない場合はポリ袋等に収めて保管してください。
- ・湿気の少ないところに保管してください。
- ・保管時は上に物を乗せたりしないでください。
- ・電源コードは束ねて保管してください。
- ・使用後は必ず水タンク内の水を捨ててから保管してください。



箱がない場合
ポリ袋でもOK!



必ず行う

故障かな?と思ったら

次のようなときは、故障ではない場合がありますので、表を見ながらもう一度お調べください。

調べる ところ	原因・処置										
	熱くならない	かけ面が出ない	スチームが少くない	スチームが少なすぎる	スチームが噴き出さず、蒸気が溜まる						
スタンドへのセット	●										アイロンを正しくスタンドにセットしていますか? 処置 アイロンを確実にセットし直してください。
給電ピン	●										給電ピンが汚れていませんか? 処置 P.12の「お手入れの仕方」を参照して清掃してください。
差込プラグ	●	●			●						差込プラグはコンセントにきちんと差し込まれていますか? 処置 差込プラグをコンセントに確実に差し込み直してください。
通電ランプ		●	●		●	●					通電せずに使用し続けていませんか? 処置 適時通電をしてください。
温度調節ダイヤル	●									●	布地に合った温度設定になっていますか? 処置 P.06の「温度設定の仕方」を参照して適温に合わせ直すか、当て布をしてください。
		●	●	●	●	●					温度調節ダイヤルが「高」位置になっていますか? 処置 ダイヤル目盛りの位置を再度確認してください。
スチーム切替レバー		●	●								スチーム切替レバーは適切な位置になっていますか? 処置 スチーム切替レバーを「☺」～「☹」に必ず合わせてください。
				●							注水時、スチーム切替レバーが「☺」～「☹」になっていませんか? 処置 スチーム切替レバーを必ずドライ「☹」に合わせてから注水してください。
ショットボタン					●	●	●				温度調節ダイヤルが「高」位置になっていますか? 処置 ①ダイヤル目盛りの位置を再度確認してください。 ②通電ランプが緑色になったら、ショットボタンを数回押してください。
クリーニングボタン					●						かけ面が温まっていない状態でクリーニングボタンを押していませんか? 処置 クリーニングは、P.10の「アイロンのクリーニング」に従って行ってください。
スチーム/ショット噴出孔		●	●	●	●	●	●				スチーム/ショット噴出孔のお手入れをされていますか? 処置 P.12の「本体のお手入れ」を参照して清掃してください。
使用後の排水										●	前回ご使用の水が水タンクに残っていませんか? 処置 使用後は必ず水を捨ててください。
かけ面										●	かけ面に何か付着していませんか? 処置 P.12の「本体のお手入れ」を参照して清掃してください。
										●	水に含まれる鉱物質などが出るもので、異常ではありません。白い粉が衣類についた場合、払うと取れます。
繊維製品の絵表示										●	布地に合った温度設定になっていますか? 処置 P.06の「温度設定の仕方」を参照して適温に合わせ直すか、当て布をしてください。

※以上の事をお調べいただき、それでも直らない場合は、ご自分で修理なさらず、お買い上げの販売店までお問い合わせください。
詳しくは、P.14「保証とアフターサービス」をご参照ください。

仕様

定 格	100V-1200W 50/60Hz	水タンク容量	約300ml
本 体 寸 法	長さ286×幅118×高さ140mm(コードレス)	蒸気発生方法	滴下式
	長さ320×幅129×高さ156mm(コード付き)	電 源 コ ー ド	約1.8m
質 量	本体：約0.93kg	温度過昇防止装置	温度ヒューズ 240°C
	コード付き：約1.36kg(電源コードを含む)	温度設定範囲	約80°C～200°C
かけ面の面積	約185cm ²	付 属 品	給水カップ(150ml) 1個

保証とアフターサービス

■修理・お取扱い・お手入れなどのご相談

お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターにお申し付けください。

■修理を依頼される時

使用中に異常が生じた場合は、必ず差込プラグをコンセントより抜いてお買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

●保証書(裏表紙)

必ず「お買い上げ日、販売店」の記入をご確認の上、お買い上げ販売店から受け取り、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げ販売店またはお客様ご相談センターに修理を依頼してください。製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年です。

注)性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

●保証期間:お買い上げ日から1年間

詳しくは裏表紙の保証規定をご確認ください。

お客様ご相談センター	〒340-0807 埼玉県八潮市新町9
TEL: 048-931-3110	受付時間: 月～金の9時～12時/13時～17時 ※祝日・年末年始・夏季などの休業中を除く

長年ご愛用のコードレスアイロンの点検を!

このような症状はありませんか?



- 差込プラグやコードが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- 本体に触れるとビリビリと電気を感じる。
- その他の異常、故障がある。

このようなときは、ご使用を中止してください。事故防止のため、必ず販売店に点検修理をご相談ください。

株式会社 石崎電機製作所

本社

〒111-0051
東京都台東区蔵前3-5-15

東日本営業所

〒111-0051
東京都台東区蔵前3-5-15
TEL.03-5687-7031

西日本営業所

〒550-0013
大阪市西区新町1-25-7
TEL.06-6541-3893

公式ホームページ



www.sure-ishizaki.co.jp